

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 12 月 20 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/20 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	20.3 °C	105.2 kPa abs	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.07 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.4 m ³ /h	28.7 °C	5.66 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 0.0 m ³ /h	28.2 °C	0.22 kPa g	A系： 0.09 vol%
		給水系：約 5.4 m ³ /h			B系： 0.08 vol%

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/20 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	13.0 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	11.7 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	18.5 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘビドラジンの注入を適宜実施。

・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	12/17 10:20 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋 [高温焼却炉建屋])	12/17 16:00 ~ 移送実施中*
6号機	6号機 タービン建屋	仮設タンク	12/20 10:00 ~ 15:00 移送実施

12/20 10:21 ポンプ台数切替(1台 2台)

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (12/20 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*

* 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。

・B系：平成 26 年1月下旬頃(予定) に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。

※A系における腐食対策有効性確認の結果を踏まえて、B系での確認予定を見直していたため、記載内容を訂正いたしました。(H25/12/20 訂正)

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

< 5. その他 >

- ・H25/12/19 14:10 頃 海側遮水壁設置工事に使用している重機(ホイールローダー)が南側防波堤付近で横転したとの連絡あり。その後、同日 14:20 頃、軽油が約1リットル漏れていることを協力企業作業員より連絡があったため、14:28、双葉消防本部へ連絡。なお、本件においてけが人は発生しておらず、重機の横転に伴う設備への影響はない。
- その後、油吸着マットで漏れた軽油の吸い取り措置を行った後に、重機を立ち上げて通常位置に戻し、軽油の漏えいが停止したことを確認。また、双葉消防本部より危険物漏えいではないとの判断をいただいた。
- ・H25/11/25 15:35 ~ 5号機補機冷却海水系について、ストレーナ点検およびタービン補機冷却水系熱交換器(A)海水入口弁及び海水出口弁の点検を行うため、15:35 に全台停止。点検期間において、使用済燃料プール冷却系が使用できなくなるが、残留熱除去系による原子炉停止時冷却運転(炉心冷却)と非常時熱負荷運転(使用済燃料プール冷却)を交互に切り替えることで、使用済燃料プール冷却を実施。なお、冷却停止における原子炉停止時冷却運転(炉心冷却)および非常時熱負荷運転(使用済燃料プール冷却)は24時間毎に切替えを行い、炉水温度上限 65 、使用済燃料プール温度上限 35 を目安とし、保安規定で定める運転上の制限値を超えないよう管理。また、冷却停止時の使用済燃料プール水温度は 19.6 であった。
- H25/12/20 12:05 ~ ストレーナの点検およびタービン補機冷却水系熱交換器(A)海水入口弁及び海水出口弁の点検等が終了したことから、補機冷却海水系の復旧を行い、12:05 に使用済燃料プール冷却系の運転を開始(使用済燃料プールの温度は 21.8 で運転に異常はなし)。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・12/10 10:10~ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績(12/19)>

- ・高線量当量率箇所(β+γ線(70μm線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は12/20 0:00 時点で約 6,456m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<移送関係>

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/10~16 1,2号機間護岸エリア地下水観測孔No.1-16の放射能濃度が上昇傾向にあることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に実施。作業員の被ばく低減の観点から当該観測孔からの汲み上げ作業は12/16で終了。今後、No.1-16近傍で新たに回収用の孔(口径大、深度浅)を掘削し、汲み上げ水をウェルポイント経由で回収できるようにする予定。
- ・H25/12/11~ 1,2号機間護岸エリア地下水観測孔No.0-3-2でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H25/10/23～ 地下貯水槽 No.6 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/15～ 地下貯水槽 No.5 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/19～ 地下貯水槽 No.1 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/28～ 地下貯水槽 No.3 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/12/7～ 地下貯水槽 No.2 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/12/16～ 地下貯水槽 No.7 において浮き上がり対策を実施中。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上